

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択(卒業)
授業科目名：乳児保育 I 英語表記：Infant Care I ナンバリング：2312		単位数：2単 位 (半期) 講義	担当教員名：加藤房江 担当形態：単独
科目/系列	/保育の内容・方法に関する科目		
施行規則に定める科目区分 または事項等/教科目	/乳児保育 I		
【授業の到達目標及びテーマ】 1. 乳児保育の意義・目的と歴史的変遷・役割、現状と課題について理解できる。 2. 3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育内容や運営体制について理解できる。 3. 乳児保育の職員間の連携・協働、保護者や地域の関係機関との連携、乳児保育の現状・課題等を理解できる。			
【授業の概要】 乳児保育の意義・目的と歴史的変遷及び役割、乳児院等多様な保育の場における乳児保育の現状・課題等を理解する。3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育内容と運営体制について理解や乳児保育における職員間の連携・協働及び保護者や地域の関係機関との連携について学び、理解することも重要である。			
【学科の卒業認定・学位授与の方針との関連】			関連性
【知識・理解・技能】			
1. 保育・教育に必要な専門的知識を修得している。			○
2. 子どもの心身の発達特性や健康について理解している。			
3. 保育・教育の実践的な技能を身に付けている。			
【思考・判断・表現】			
1. 多面的な視点から問題を解決する対応方策を考えることができる。			
2. 保育者として実行すべきことを実態に照らして判断し、選択することができる。			○
3. 保育・教育の意図やねらいを、保育実践を通して表現することができる。			
【関心・意欲・態度】			
1. 子どもを取り巻く社会の現状に関心を持っている。			
2. 保育・教育に責任感を持って、協働して取り組もうとする意欲を持っている。			
3. 子どもの権利と最善の利益を尊重する態度を身に付けている。			○
【授業計画】 第1回：オリエンテーション、乳児保育の意義と目的 第2回：乳児保育の歴史的変遷と役割・機能 第3回：乳児保育における養護及び教育と乳児保育の基本 第4回：3歳未満児の発達、愛着 第5回：3歳未満児の保育内容 第6回：3歳未満児の保育内容 第7回：3歳未満児の保育内容 第8回：0歳児（乳児）の保育内容 第9回：0歳児（乳児）の保育内容 第10回：職員間の連携・協働、保護者や地域の関係機関との連携 第11回：乳児保育における計画・記録・評価 第12回：3歳未満児の遊びと環境 第13回：3歳未満児の生活と環境 第14回：3歳未満児の発達・発育を踏まえた保育における配慮 第15回：3歳未満児の発達・発育を踏まえた保育における配慮 定期試験：なし		【授業時間外の学習】 予習には、1時間程度の時間が必要であり、テキストを精読する。 予習プリントの課題がある場合は、事前に記入して、授業に臨むこと。 授業終了後は、1時間程度の復習を行う。	

【授業の方法】	
講義、視聴覚教材を通して乳児保育の意義や歴史の変遷、乳児を取り巻く社会状況、保育の方法を理解する。レポートや小テスト等を行い学習の定着を図る。グループワークを通して能動的に実践することで、保育を構成する力を身につける。学生からの課題に対して、レポートや課題にコメントを入れてフィードバックする。	
【テキスト】	
『見る・考える・創り出す「乳児保育Ⅰ・Ⅱ」』CHS子育て文化研究所 迫田圭子ら 萌文書林	
【参考書・参考資料等】	
『保育所保育指針』（最新版）『幼稚園教育要領』（最新版） 『幼保連携型認定こども園・教育保育要領』（最新版） 『マンガでわかる保育所保育指針』浅井拓久也 著 中央法規	
【学生に対する評価】	
ルーブリック評価・授業内提出物・課題レポート・小テスト（70%）、授業参画度・発表（30%）等で判断する。	
【履修上の注意】	
<ul style="list-style-type: none"> ・保育士になるための大切な授業であり、自ら調べ積極的姿勢で学ぶこと。 ・グループワークや模擬保育は協力して行い、演習に必要な持参物品を忘れない。 ・受講にあたって、事前事後の学習を行い、積極的態で授業に臨むことを期待する。 	
実務経験の有無：有	実務経験：元主任保育士
【実務経験を生かした教育内容】	
保育士の経験を活かし、実際の保育現場の心構えなどを習得できるよう授業を行う。	